

2026年度 第1回

東北観光推進機構 広域観光分析レポート

2026年7月31日発行



■本レポートに関する基本用語集

【東北観光DMP】

- ・東北観光推進機構が運用・提供するデータマネジメントプラットフォーム。
- ・観光マーケティングデータをプラットフォーム内で一元管理。
- ・動態(人流)データ、消費購買データ、Web・SNSアクセスデータなどを格納。

【海外動態・国内動態】

- ・海外(インバウンド)観光客および国内観光客の動態データ。
- ・海外動態は携帯電話基地局への接続状況を基にしたデータ(モバイル空間統計)、国内動態はスマートフォンの位置情報アプリを基にしたデータを使用。
- ・使用する各データには、いずれも拡大推計を行った数値が用いられている。

●海外動態

【実訪問数・スポット訪問数】

- ・スポット(1kmメッシュ)内に1時間以上滞在した者の数。

【他訪問数・他スポット訪問数】

- ・あるスポットを基準として、そのスポット訪問者が同一行程の中で訪問した他のスポット内に1時間以上滞在した数。

【観光客数】

- ・10:00～17:59の間、同一市町村内に2時間以上滞在した者の数。

【宿泊客数】

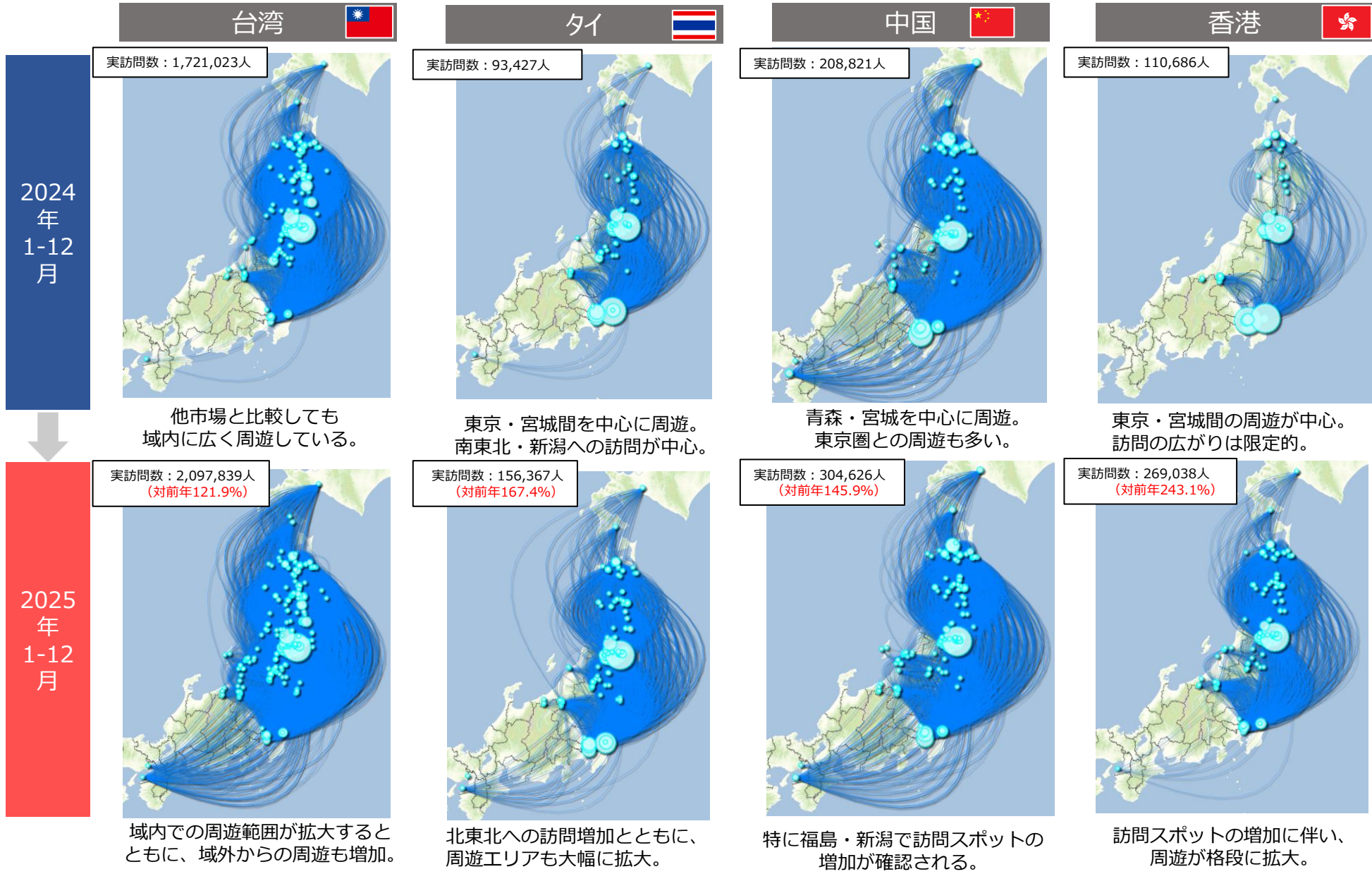
- ・深夜2:00～4:59の間、同一市町村内に2時間以上滞在した者の数。

●国内動態

【延べ滞在数】

- ・1kmメッシュ内に20分以上滞在した者の延べ人数。

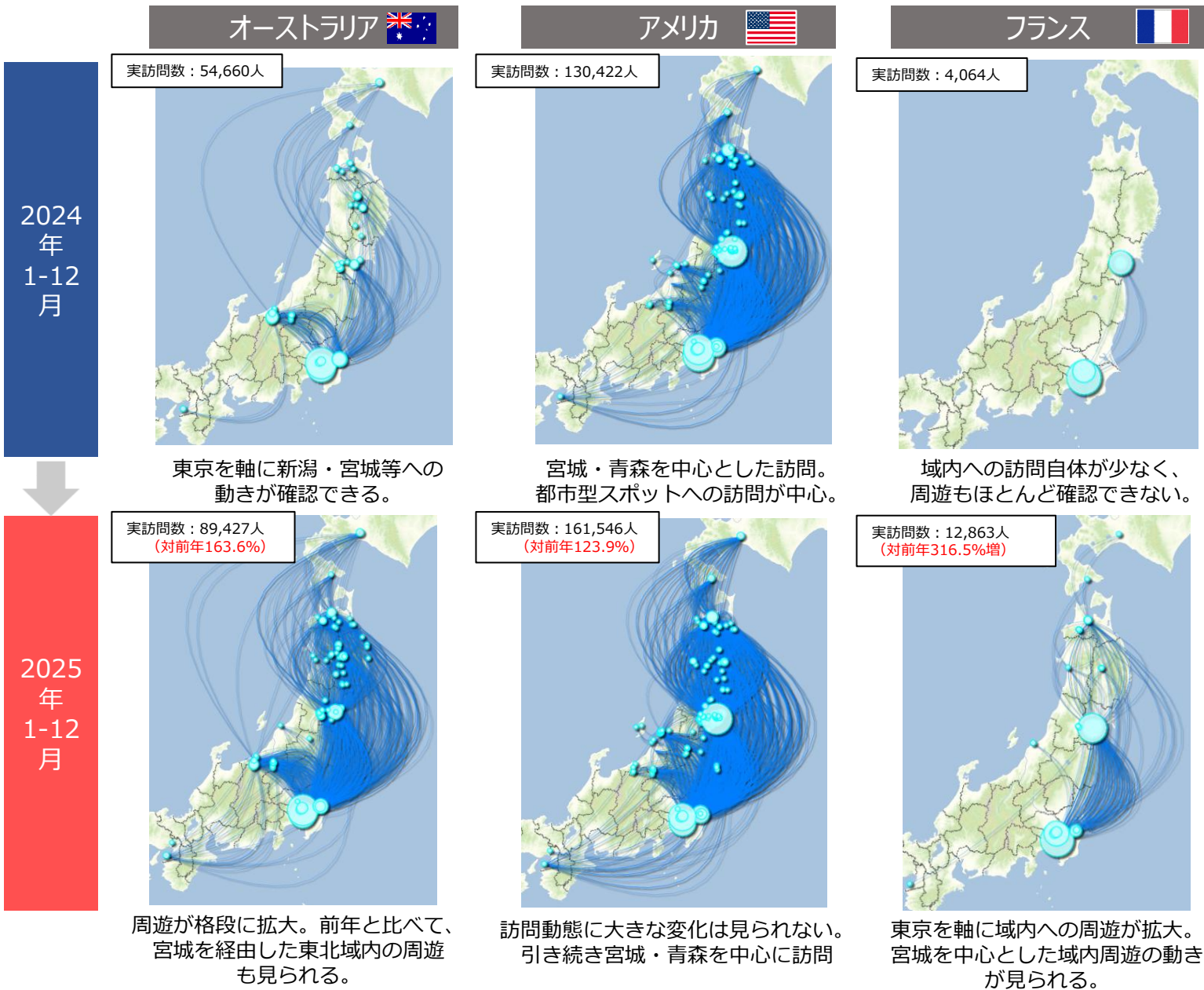
2025年1月～12月における インバウンド観光客の動態について



■東北6県・新潟域内スポットへのインバウンド訪問動態

2024年1-12月

2025年1-12月

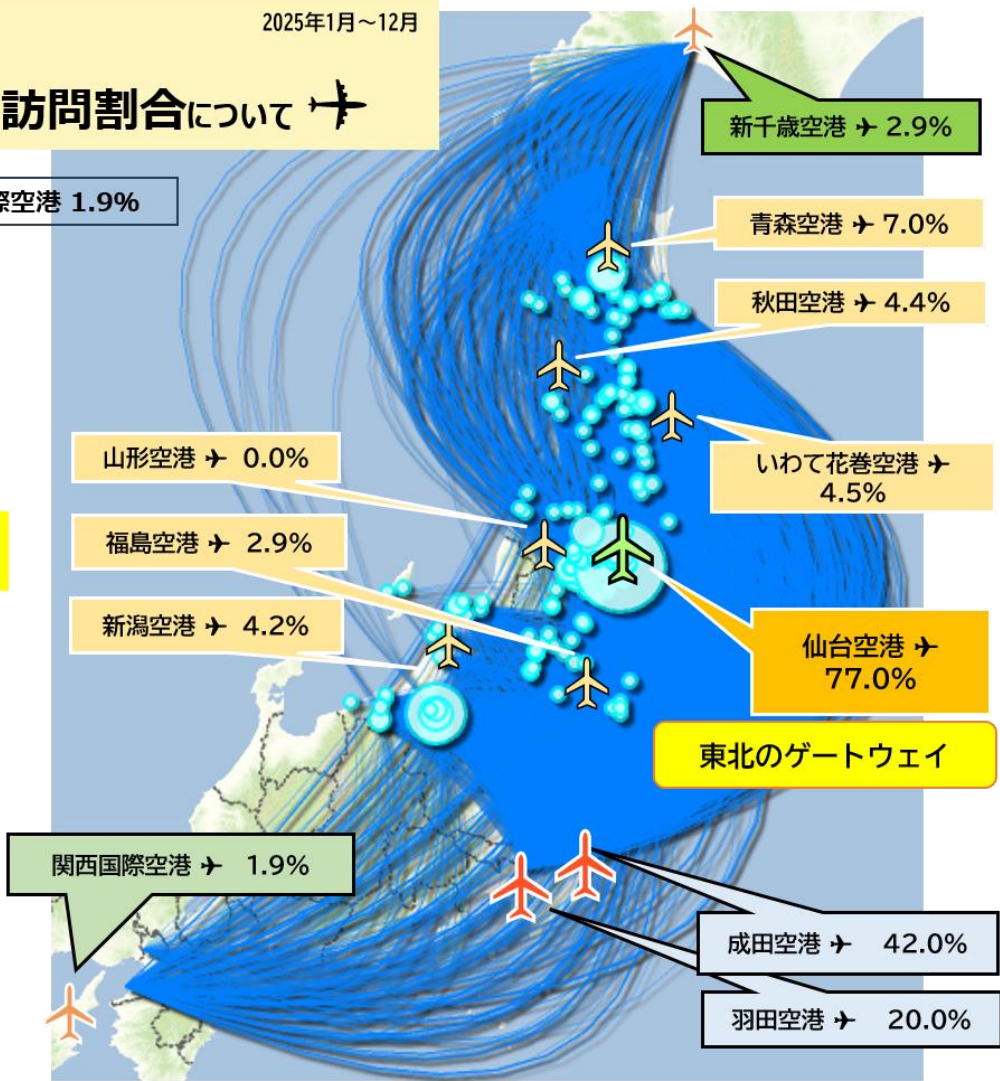
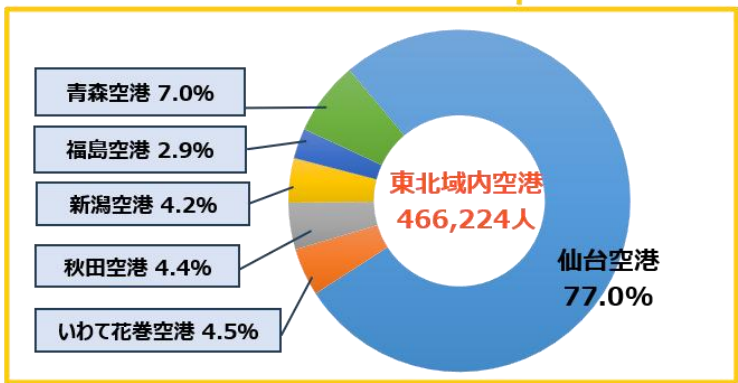
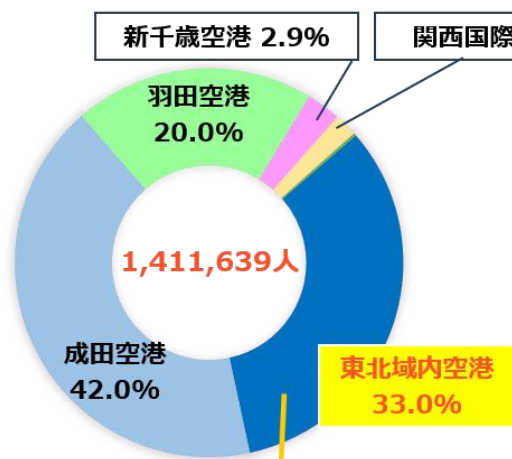


出典：東北観光DMP GPS-31（データ提供元：㈱インテージ）

- 空路は成田・羽田経由の割合で62%、東北域内空港経由は33%となっている。
- 東北域内の割合では、仙台空港利用の割合が前年と比較して増加し77%。次いで青森・花巻となる。

【海外動態】
東北域外主要空港及び域内空港の訪問割合について

2025年1月～12月



※出典：東北観光DMP（データ提供元：株式会社インテージ）GPS-31
他スポット訪問数を基に作成

- ・1-3月はスノースポットを中心に山形・新潟・宮城の周遊（他訪問合計）が上位に。北東北は青森・岩手がランクイン。
- ・昨年と同様に銀山温泉と蔵王に、周遊傾向の極端な偏りが確認される。新潟のスキー場も訪問数の増加が著しい。
一方で滞在型となるスキー場エリアのスポットは、他のスポットと比べて周遊傾向が低いことが確認される。
- ・宿泊率では花巻や奥入瀬・天童などが高く、宿泊型のスポットとなっている。

【2025年1-3月】東北域内のインバウンド訪問スポットTOP20

* 周遊傾向（他訪問合計）で降順

都道府県	スポット名	実訪問数	他訪問合計	他訪問倍率	宿泊客数	宿泊率
	総合計	1,174,378	4,254,696	362%	462,914	39.4%
1 宮城県	仙台市青葉区中央（仙台駅前西側）	105,052	438,086	417%	71,114	67.7%
2 山形県	尾花沢市 銀山新畑（銀山温泉）	54,085	282,110	522%	11,000	20.3%
3 山形県	山形市 蔵王温泉（樹氷高原周辺）	50,976	269,457	529%	1,722	3.4%
4 山形県	山形市 蔵王温泉（ロープウェイ・宿街）	45,234	230,368	509%	13,898	30.7%
5 山形県	山形市 香澄町（山形駅東口）	33,794	169,285	501%	18,366	54.3%
6 新潟県	越後湯沢駅周辺	67,126	166,582	248%	22,891	34.1%
7 宮城県	仙台市青葉区五橋（仙台駅前南西側）	29,837	122,070	409%	25,752	86.3%
8 宮城県	名取市 下増田（仙台空港）	26,048	112,188	431%	0	0.0%
9 宮城県	仙台市青葉区国分町（歓楽街）	24,072	100,908	419%	9,668	40.2%
10 宮城県	松島町 松島（松島海岸周辺）	18,236	91,950	504%	476	2.6%
11 山形県	山形市 蔵王温泉（バスターミナル〜ゲレンデ）	20,429	82,612	404%	13,428	65.7%
12 青森県	青森市安方（青森駅前東北側）	22,346	82,222	368%	17,204	77.0%
13 新潟県	ガーラ湯沢周辺	31,081	81,958	264%	10,553	34.0%
14 宮城県	仙台市宮城野区 仙台港北（SE-ELIA）	14,059	68,626	488%	0	0.0%
15 青森県	青森市篠田（青森駅前西側）	17,102	68,156	399%	7,031	41.1%
16 新潟県	苗場スキー場周辺	30,949	62,644	202%	17,166	55.5%
17 岩手県	花巻市 湯本（花巻温泉）	12,200	58,790	482%	8,856	72.6%
18 山形県	天童市 老野森（天童駅東北エリア）	11,533	53,147	461%	8,593	74.5%
19 山形県	天童市 天童（公園・舞鶴山・温泉）	11,225	51,018	455%	9,755	86.9%
20 青森県	奥入瀬渓流館（奥入瀬川の上流・南側）	12,036	50,581	420%	10,926	90.8%

スノーエリア ショッピング

- 【コメント】
- 1～3月は、今や東北・新潟の最大の観光コンテンツとなる「雪」を目当てに訪問するインバウンドが多く、「冬にしか見られない景観」や「スノーアクティビティ」をウリとするスポットに訪問が集中。
 - 観光スポットでは銀山温泉がスポット訪問数最上位に。
 - 蔵王、銀山は他訪問率5倍超と、域内周遊の目玉スポット化
 - 銀山、蔵王の低宿泊率は訪問数に対する客室キャパの問題と推察される。天童温泉は両スポットへのバスツアーを催行し、訪問数増加。
 - 花巻温泉・天童温泉・奥入瀬は、宿泊率が訪問者に対して7割を超える。滞在（宿泊）が訪問の主な目的となっている。
 - 加えて、仙台市や青森市など、宿泊施設が多い中心部エリアへの宿泊率も高くなっている。
 - 前年同期との比較としては、青森県内スポットにおける訪問数・他訪問数の伸びが特に大きいことが確認された。一方で、花巻温泉は前年同期比微減となっており、これまで先導的にインバウンド受入を進めてきたところに、域内への周遊傾向が強まったことで、相対的に訪問が減っているものと推測される。

・4-6月は桜スポットを中心に北東北＋宮城県を周遊する全体傾向。桜スポットは弘前城を中心に、角館・北上・船岡城址公園などに集中。これらは総じて周遊先として選ばれている傾向が強く、域内周遊のキースポット。
・銀山温泉・花巻温泉は春でも上位。松島や弘前、銀山、北上は宿泊率は低く、日帰り訪問先としての位置づけ。

【2025年4-6月】東北域内のインバウンド訪問スポットTOP20

	都道府県	スポット名	実訪問数	他訪問合計	他訪問倍率	宿泊客数	宿泊率
	総合計	総合計	732,111	2,566,051	351%	276,969	37.8%
1	宮城県	仙台市青葉区中央（仙台駅前西側）	93,411	337,134	361%	60,910	65.2%
2	宮城県	仙台市青葉区国分町（歓楽街）	27,941	109,607	392%	10,422	37.3%
3	宮城県	仙台市青葉区五橋（仙台駅前南西側）	29,337	104,314	356%	24,541	83.7%
4	青森県	青森市安方（青森駅前東北側）	26,086	99,156	380%	19,373	74.3%
5	青森県	弘前市 若党町（弘前城北部エリア）	20,293	93,860	463%	0	0.0%
6	宮城県	松島町 松島（松島海岸周辺）	19,140	86,673	453%	697	3.6%
7	宮城県	名取市 下増田（仙台空港）	19,868	82,267	414%	0	0.0%
8	青森県	弘前市 大字下白銀町（弘前城）	17,175	75,278	438%	1,762	10.3%
9	岩手県	盛岡市 中央通（盛岡中心街）	16,036	69,593	434%	11,540	72.0%
10	青森県	青森市篠田（青森駅前西側）	16,807	67,148	400%	6,733	40.1%
11	山形県	尾花沢市 銀山新畑（銀山温泉）	13,714	59,548	434%	2,474	18.0%
12	宮城県	仙台市宮城野区 仙台港北（SE-ルエリア）	12,145	50,509	416%	0	0.0%
13	岩手県	花巻市 湯本（花巻温泉）	9,731	47,400	487%	7,346	75.5%
14	秋田県	角館駅東北ワグナーモール（トラッグ・食街）	7,887	45,847	581%	0	0.0%
15	岩手県	盛岡市 新田町（盛岡駅北西）	7,452	43,287	581%	3,312	44.4%
16	岩手県	北上市立公園展勝地	6,775	42,082	621%	695	10.3%
17	宮城県	仙台市青葉区 霊屋下（政宗公廟）	11,650	41,408	355%	2,347	20.1%
18	宮城県	船岡城址公園	7,318	40,769	557%	0	0.0%
19	宮城県	杜せきのした（イオンモール名取）	10,105	39,069	387%	0	0.0%
20	青森県	弘前市 大町（弘前駅前西側）	9,054	38,451	425%	3,975	43.9%

* 周遊傾向（他訪問合計）で降順

桜エリア ショッピング メジャー観光地

- 【コメント】
- 4～6月は「桜」鑑賞スポットを軸に訪問。
 - 他季と同様に仙台市を中心とした動態であるが、青森・秋田・岩手・宮城などの桜スポットに広く周遊している。
 - 一方で、桜スポットの人気に押される形で、定番の観光スポット（奥入瀬・猊鼻溪等）は前年から順位を落としている。
 - スポットの周遊傾向を確認すると、桜をウリとする弘前城・角館・北上展勝地・船岡城址公園などは、総じて他訪問倍率が高く、4～6月観光訪問時の必須の立ち寄り先として認知されている可能性が高い。
 - スポット別では、桜スポットの中でも弘前城・船岡城址公園に関連するスポットの訪問数・他訪問数の伸びが大きい。

- ・7-9月は他四半期よりも訪問数が減少。上位には松島や狛鼻溪、銀山温泉など、年間を通じて人気のスポットが並ぶ。
- ・奥入瀬や花巻温泉は、夏季も宿泊率が高く、東北観光における宿泊先の地域を確立している。
- ・なお、上記のような観光スポットは他訪問倍率が高く、周遊時の立ち寄り先としてとして特に選ばれていることが確認できる。

【2025年7-9月】東北域内のインバウンド訪問スポットTOP20

	都道府県	スポット名	実訪問数	他訪問合計	他訪問倍率	宿泊者数	宿泊率
	総合計	総合計	553,303	1,689,488	305%	214,627	38.8%
1	宮城県	仙台市青葉区中央（仙台駅前西側）	78,414	259,588	331%	52,415	66.8%
2	青森県	青森市安方（青森駅前東北側）	22,322	83,757	375%	14,445	64.7%
3	宮城県	仙台市青葉区国分町（歓楽街）	22,550	75,093	333%	9,282	41.2%
4	宮城県	仙台市青葉区五橋（仙台駅前南西側）	21,472	65,349	304%	17,774	82.8%
5	宮城県	名取市 下増田（仙台空港）	17,458	63,403	363%	0	0.0%
6	宮城県	松島町 松島（松島海岸周辺）	13,983	60,040	429%	252	1.8%
7	青森県	青森市篠田（青森駅前西側）	16,754	59,244	354%	6,908	41.2%
8	岩手県	盛岡市 中央通（盛岡中心街）	11,917	49,861	418%	8,589	72.1%
9	宮城県	仙台市宮城野区 仙台港北（SE-LIPIA）	11,177	47,927	429%	152	1.4%
10	岩手県	一関市 東山町長坂（狛鼻溪など）	8,064	45,248	561%	0	0.0%
11	山形県	尾花沢市 銀山新畑（銀山温泉）	9,506	41,412	436%	1,625	17.1%
12	青森県	奥入瀬溪流館（奥入瀬川の上流・南側）	8,640	32,932	381%	7,810	90.4%
13	宮城県	杜せきのした（イモール名取）	8,942	31,535	353%	0	0.0%
14	岩手県	花巻市 湯本（花巻温泉）	7,346	31,428	428%	5,238	71.3%
15	青森県	十和田市 奥瀬（十和田湖南湖畔）	6,963	29,576	425%	2,760	39.6%
16	宮城県	仙台市青葉区 霊屋下（政宗公廟）	9,938	27,268	274%	1,542	15.5%
17	宮城県	仙台市青葉区川内（東北大・本丸跡）	6,589	25,817	392%	0	0.0%
18	宮城県	松島町 高城（から松島駅）	6,844	24,754	362%	751	11.0%
19	岩手県	盛岡市 新田町（盛岡駅北西）	5,963	23,332	391%	2,518	42.2%
20	青森県	弘前市 大字下白銀町（弘前城）	5,597	21,126	377%	791	14.1%

* 周遊傾向（他訪問合計）で降順

宿泊施設 ショッピング メジャー観光地

【コメント】
●7～9月の訪問は、他期間と比較して実訪問数が少ない。（年間の約16.2%）
●その中でも、松島・狛鼻溪・銀山温泉などの東北を代表する観光地は引き続き高い訪問数が確認できる。

●スポット別では、青森のスポットを中心に訪問数・他訪問数に伸びが見られ、4～6月の状況と合わせて考察すると、スポットだけではなく青森全体として観光地としての認知がインバウンドに浸透しつつあると考えることができる。

●周遊の面では、狛鼻溪がダントツに他訪問倍率が高い。周遊スポットを詳細に見ると、花巻温泉などの岩手県内スポットだけでなく、宮城・青森・山形・秋田など隣県のスポットに広く周遊していることが確認できる。

- ・10-12月は、紅葉の有名観光地を軸に訪問がなされている。通年で訪問の多い松島も、秋季の訪問数が特に多い。
- ・また第4四半期は12月が入ることで、冬季観光スポット（銀山温泉、蔵王）の訪問の増え始めも確認できる。
- ・なお、紅葉の観光スポットは他訪問倍率が高いことが確認され、周遊における重要テーマであると言える。

【2025年10-12月】東北域内のインバウンド訪問スポットTOP20

都道府県	スポット名	実訪問数	他訪問合計	他訪問倍率	宿泊客数	宿泊率
総合計	総合計	952,001	3,487,319	366%	373,299	39.2%
1 宮城県	仙台市青葉区中央（仙台駅前西側）	105,096	419,087	399%	70,263	66.9%
2 山形県	尾花沢市 銀山新畑（銀山温泉）	31,215	156,076	500%	6,435	20.6%
3 宮城県	松島町 松島（松島海岸周辺）	25,803	129,308	501%	955	3.7%
4 宮城県	仙台市青葉区五橋（仙台駅前南西側）	30,241	113,306	375%	25,084	82.9%
5 宮城県	仙台市青葉区国分町（歓楽街）	32,734	109,905	336%	13,628	41.6%
6 宮城県	名取市 下増田（仙台空港）	25,056	108,724	434%	0	0.0%
7 岩手県	一関市 東山町長坂（狢鼻溪など）	17,592	105,636	600%	0	0.0%
8 青森県	青森市安方（青森駅前東北側）	28,576	104,207	365%	21,125	73.9%
9 青森県	青森市篠田（青森駅前西側）	22,867	92,685	405%	10,772	47.1%
10 岩手県	花巻市 湯本（花巻温泉）	16,928	85,002	502%	12,150	71.8%
11 岩手県	中尊寺周辺	13,630	77,083	566%	0	0.0%
12 宮城県	仙台市宮城野区 仙台港北（SEELIA）	15,890	76,634	482%	0	0.0%
13 青森県	十和田市 奥瀬（十和田湖南湖畔）	15,516	76,219	491%	6,064	39.1%
14 山形県	山形市 香澄町（山形駅東口）	16,409	72,409	441%	8,853	54.0%
15 山形県	山形市 蔵王温泉（樹氷高原周辺）	13,447	64,765	482%	266	2.0%
16 岩手県	盛岡市 中央通（盛岡中心街）	13,964	56,944	408%	10,476	75.0%
17 秋田県	角館駅東北ワグモール（トラック・食街）	9,160	55,792	609%	143	1.6%
18 宮城県	杜せきのした（イオンモール名取）	12,715	52,248	411%	35	0.3%
19 青森県	弘前市 大字下白銀町（弘前城）	10,870	45,945	423%	1,505	13.8%
20 宮城県	松島町 高城（から松島駅）	10,627	45,193	425%	1,584	14.9%

* 周遊傾向（他訪問合計）で降順

紅葉 ショッピング メジャー観光地

【コメント】

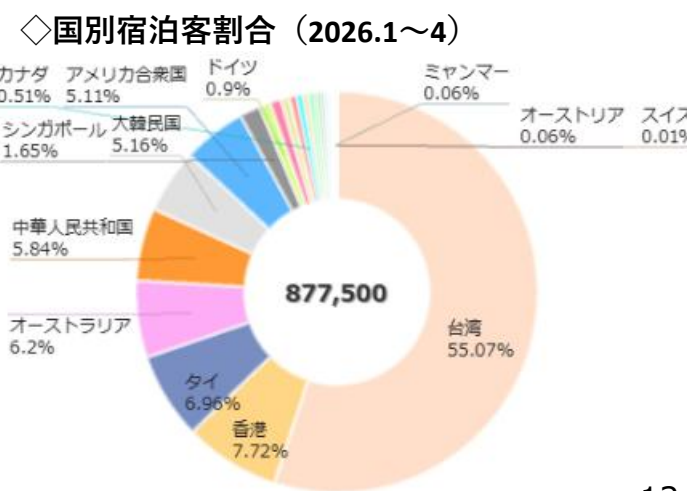
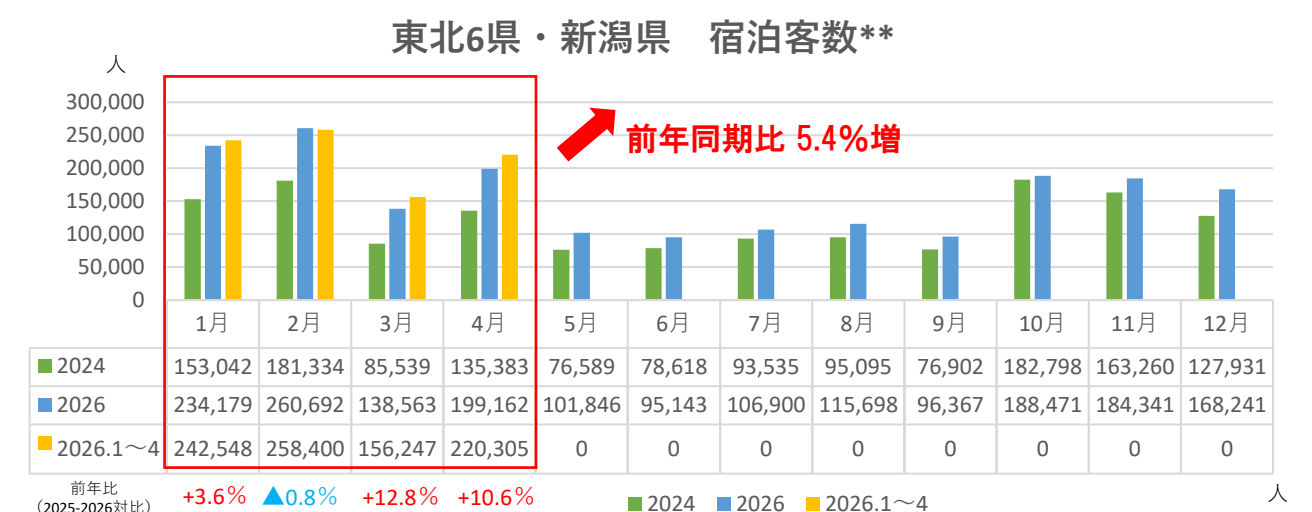
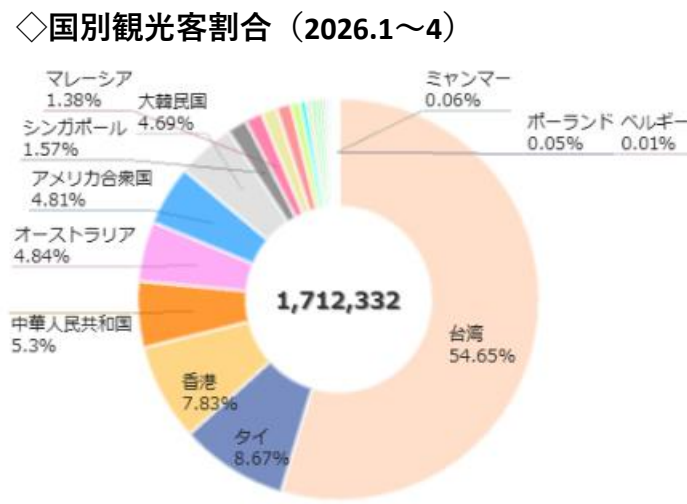
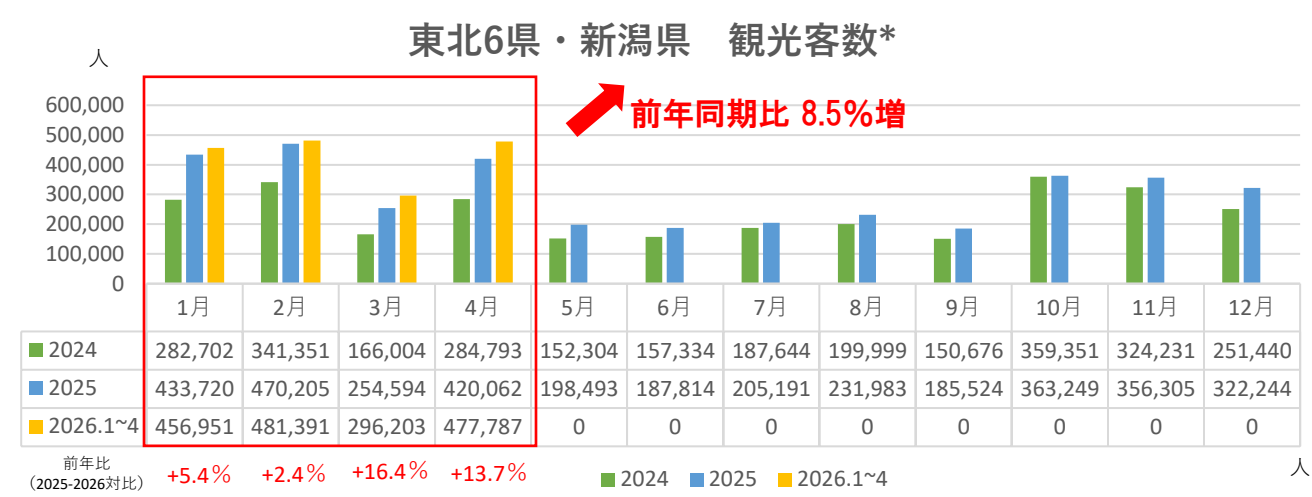
- 10～12月は、「紅葉」鑑賞スポットが上位に入るとともに、冬の始まりとして冬季の観光スポットへの訪問開始の傾向が見られる。
- 「紅葉」の観点では、松島・狢鼻溪・中尊寺・十和田・角館などへの訪問数が多い。特に松島は年間を通じて人気のスポットであるが、秋季の訪問が年間でも特に多いことが確認できる。
- また、周遊傾向でも紅葉スポットの他訪問倍率は特に高く、春の「桜」と同様に域内周遊を促進する際の重要テーマであると言える。
- 「冬」の観点では、銀山温泉・蔵王などへの訪問の増え始めが確認できる。
- 前年同期と比較をすると、狢鼻溪や花巻温泉にわずかに訪問数に減少傾向が見られる。なお、いずれのスポットも引き続き周遊傾向は強い一方で、他訪問数でも減少傾向が表れている。

(参考)2026年1月～4月における
インバウンド観光客の動態について

■動態分析(海外)について(2026.1~4)

出典：東北観光DMP GPS-10
(データ提供元：㈱インテージ)

- ✓ インバウンド観光客数を見ると、2026年1~4月の状況はいずれの月も前年を上回っており、1~4月の前年同期比では**8.5%増加**している。国別の割合では、台湾（54.7%）が最も多く、次いでタイ（8.7%）、香港（7.8%）、中国（5.3%）、オーストラリア（4.8%）。
- ✓ 宿泊客数で見ると、2026年1~4月の状況は2月以外は前年を上回った。1~4月の前年同期比では**5.4%の増加**となっている。国別の割合では、台湾（55.0%）が最も多く、次いで香港（7.7%）、タイ（7.0%）、オーストラリア（6.2%）、中国（5.8%）と続く。観光客と比較してオーストラリアの割合が増えているが、スキー場などの滞在型観光地への来訪意欲が強く、訪問と宿泊をセットにした観光形態が多いことが影響していると思われる。
- ✓ また、観光客・宿泊客ともに昨年から伸びが鈍化傾向。更なる拡大を図るには集中傾向が生じている訪問エリアの分散などを考える必要がある。

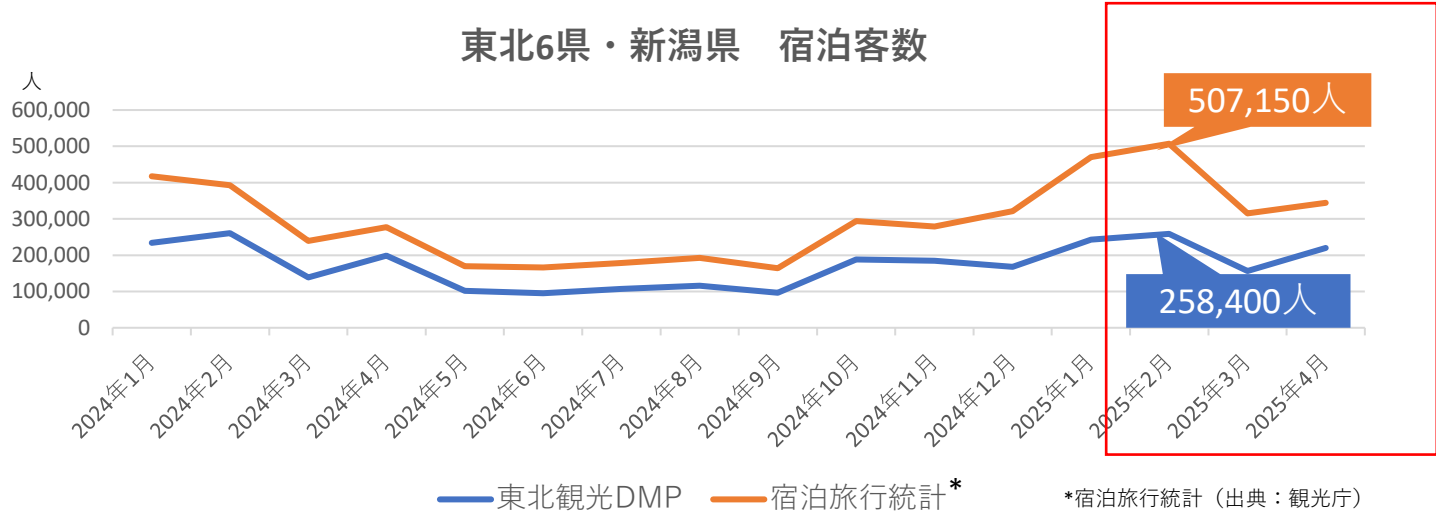


* 観光客：10:00~17:59に2時間以上滞在した者 ** 宿泊客：深夜2:00~4:59に2時間以上滞在した者 12

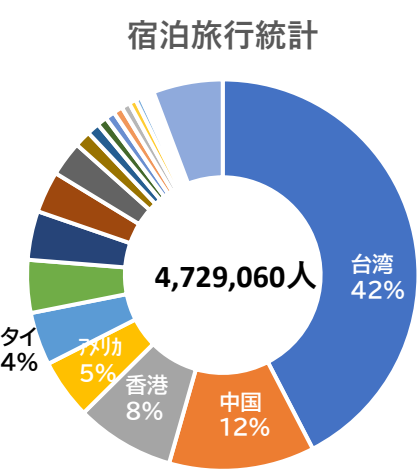
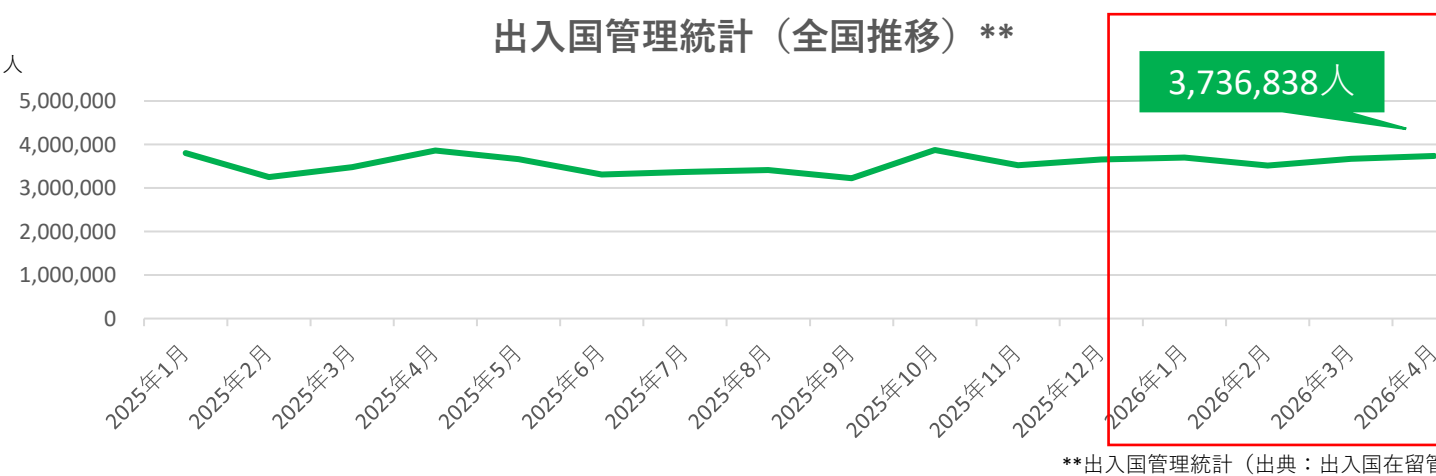
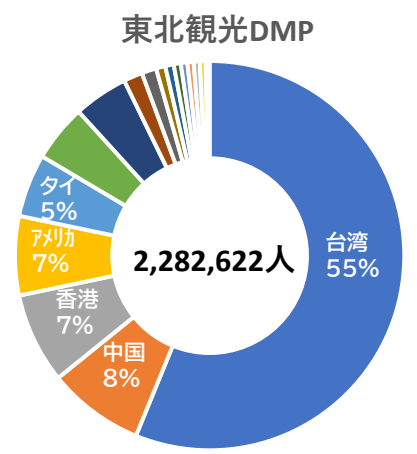
■動態分析(海外)について(2026.1~4)

出典：東北観光DMP
GPS-10（データ提供元：(株)インテージ）
OPK-02（観光庁・宿泊旅行統計）

- ✓ 東北観光DMPの動態データと観光庁宿泊旅行統計を比較すると、東北6県・新潟県の宿泊客数の推移はほぼ同じ傾向を示しており、どちらも1~2月に増加し、3月に減少、4月に再度増加という推移になっている。宿泊客数ではいずれも2月が最多で、東北観光DMPは258,400人、宿泊旅行統計では507,150人となっている。
- ✓ 出入国管理統計で全国の入国外国人の推移を確認すると、年間を通じて一定の入国者が確認でき、グリーンシーズンの宿泊者の落ち込みは東北6県・新潟県の特徴の動きであると確認できる。また出入国管理統計上は2025年11月以降入国者の大きな増加は確認できないことから、宿泊客が急増する東北・新潟のシーズン、全国的に見てもインバウンドに対する好コンテンツとなっていることがうかがえる。
- ✓ 国別の割合では、割合の違いはあるものの上位からTop5の国の並びは一致していることが確認される。



◇国別宿泊客割合（2026.1~4）



TOPIC(国内動態) 4月(桜)の国内動態について

東北・新潟を代表する北東北の桜鑑賞スポットを例にとり、2026年4月の人流データから国内動態を分析しています。

■留意事項

①使用するデータについて

- ・スマートフォンの位置情報アプリを基にした人流データを使用。
- ・データには、拡大推計を行った数値が用いられている。

【延べ滞在数】

- ・分析対象の1kmメッシュ内に20分以上滞在した者の延べ人数。

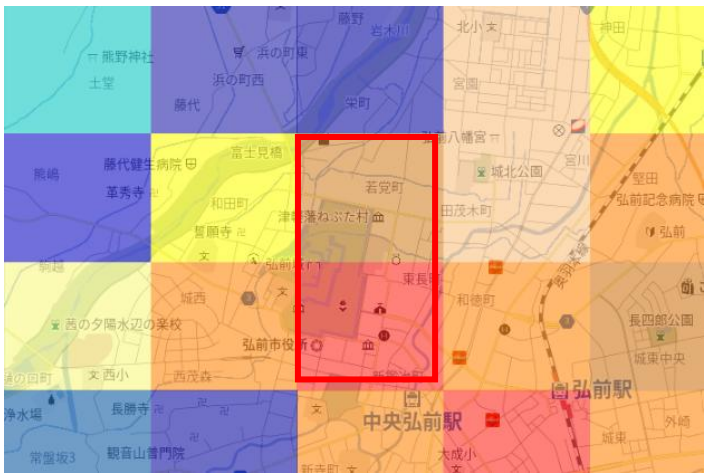
②分析対象について

- ・次ページからの分析には、対象となるエリアの居住者を除いた滞在数を使用しています。
(例)弘前公園 ×弘前市内居住者
 ○弘前市以外の青森県内居住者、県外居住者
- ・居住地は、位置情報アプリのGPSデータに基づく推測から導いています。

③滞在数について

- ・本レポートで記載する滞在数は、集計方法や集計対象、統計処理の違いから、各イベントの主催者発表数値等とは異なる場合があります。
- ・来訪者人数等について統一見解を示すものではありませんのでご注意ください。

◇青森県「弘前公園」

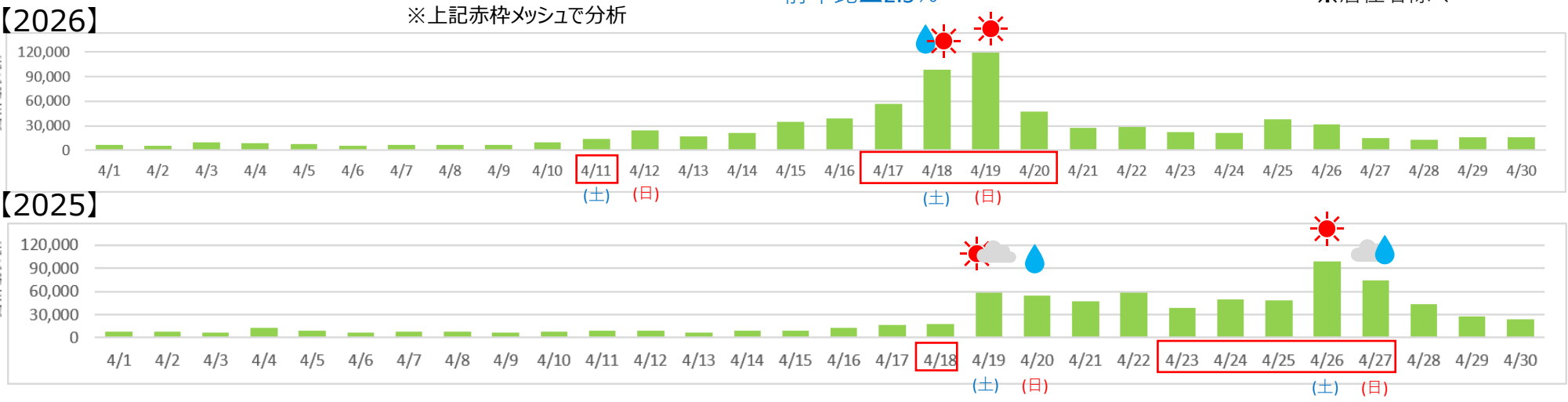


■2026年
開花日：4/11 見ごろ：4/17～20
■2025年
開花日：4/18 見ごろ：4/23～27

【イベント情報】
弘前さくらまつり
(2026) 4.10～5.5
(2025) 4.16～5.5

【4月】弘前市	延べ滞在数	うち女性	うち男性
	777,423人	383,157人	342,798人

前年比▲2.5% ※居住者除く



2026年の桜の開花が前年より1週間ほど早まったことに伴い、弘前公園では4/18～19の週末に訪問のピークを迎えた。弘前市の4月延べ滞在数では、77.7万人と前年比▲2.5%とわずかに下回った。開花後から見ごろ期間の曜日並びは昨年と大きく変わりはないものの、例年より開花が1週間程度早まったことで、GW連休との接続が途切れたことや滞在者の減少につながった可能性が考えられる。一方で、見ごろと訪問のタイミングが重なった4/18,19には前年を超える滞在数となっており、県外からも広く集客ができるブランド力は強力なものがある。

■東北・新潟 4月(桜)の国内動態について

出典：東北観光DMP
(データ提供元：㈱Agoop)

◇岩手県「北上展勝地」

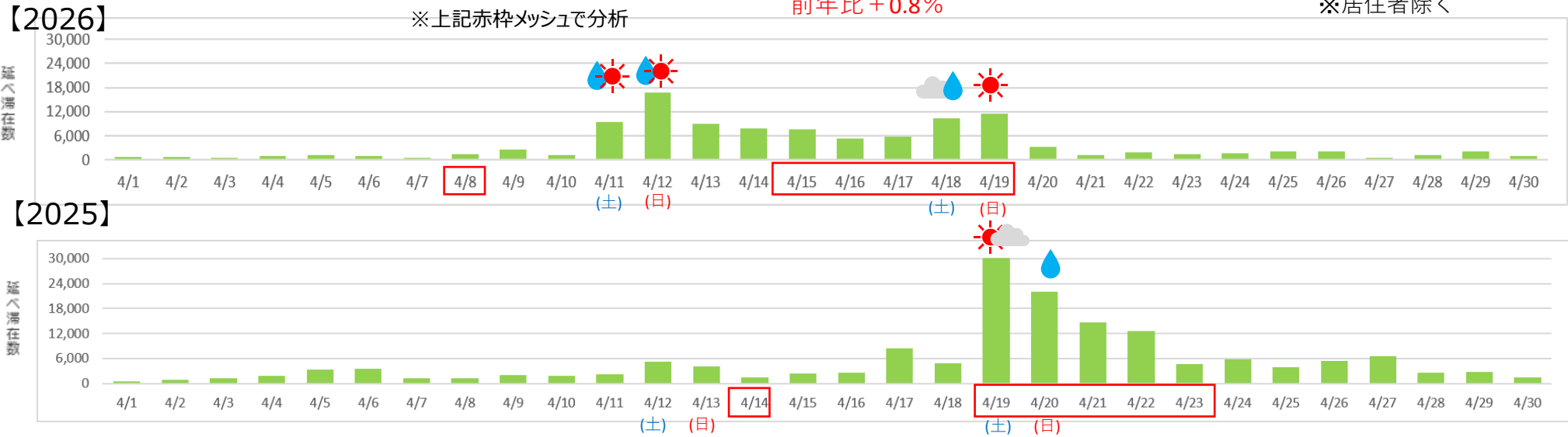


- 2026年
開花日：4/8 見ごろ：4/15～19
- 2025年
開花日：4/14 見ごろ：4/19～23

【イベント情報】
北上展勝地さくらまつり
(2026) 4.10～4/29
(2025) 4.9～4/29

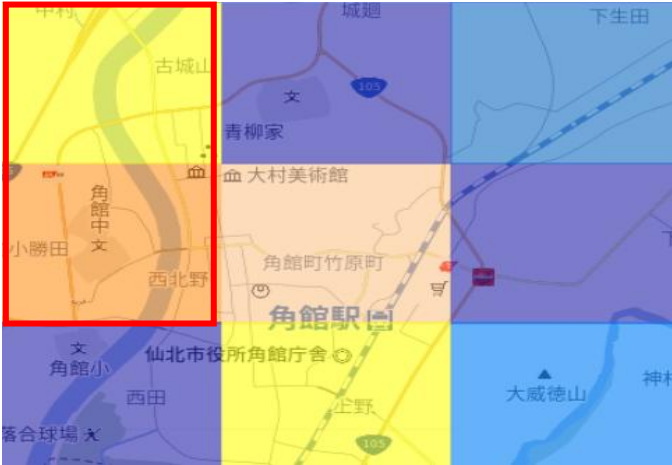
【4月】 北上市	延べ滞在数	うち女性	うち男性
	113,738人	57,667人	41,950人

前年比 + 0.8% ※居住者除く



2026年の北上展勝地では、4/12に訪問のピークを迎えた。桜の見ごろとしては4/18～19の週末とを含んでいたが、開花日が早まったことで北上展勝地さくらまつりの開幕時期と最初の週末が合致した4/12に訪問の山場が生まれたと考えられる。さくらまつり自体は4月下旬まで継続しているが、見ごろの時期を過ぎた滞在は著しく減少している。単日での訪問は前年4/19が最多であり、見ごろの時期と週末の連動が誘客に大きな影響を与えることが確認できる。

◇秋田県「角館（武家屋敷通り等）」

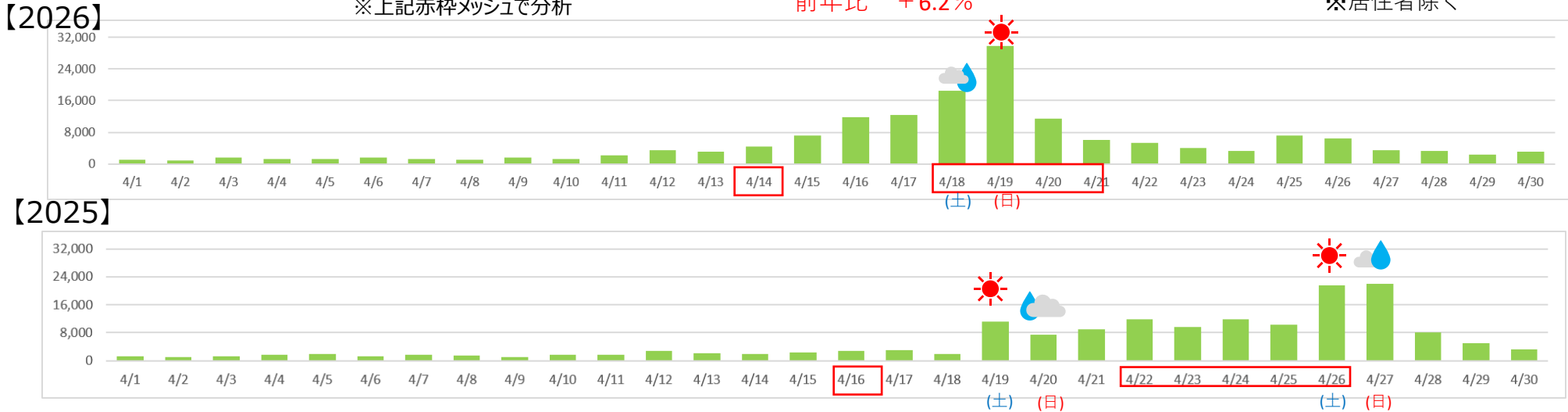


■2026年
開花日：4/14 見ごろ：4/18～21
■2025年
開花日：4/16 見ごろ：4/22～26

【イベント情報】
角館桜まつり
(2026)4.15～5.5
(2025)4.15～5.5

【4月】 仙北市	延べ滞在数	うち女性	うち男性
	783,592人	232,691人	384,786人

前年比 +6.2% ※居住者除く



2026年の見ごろの時期は、前年より3日ほど早期化。天気にも恵まれた4/19滞在のピークとなっている。仙北市全体では昨年4月の述べ滞在数を6.2%上回る滞在数となっており、桜鑑賞を目的としたピーク時滞在の効果が大きかったものと見ることができる。角館桜まつりは、2025年と開催期間は変わっていないが、期間中の前半に滞在が偏り、連休との接続が悪くなったことで一過性の滞在増加の面が強く出ている。

2026年4月(桜)の国内動態 まとめ

◇考察

- ✓ 気候変動を要因とする桜の開花・見ごろの時期は年々早期化しており、過去には4月下旬まで楽しめた桜も、遅くとも4月3週目には散っている観光地が増えている。北東北の3スポットも早期化の様相を呈しており、桜鑑賞のために訪問したい観光客から見れば、訪問時期の設定が難しい環境となっている。
- ✓ 特に4月は入学や異動、引っ越しなどのライフイベントが多く、上～中旬の観光意欲は低下することが推察され、たとえ週末であるとしても思ったほどの集客につながらないことも想定される。
- ✓ 今回分析した弘前・北上・角館は、桜の観光地としてのブランド化が相当程度進んでおり、上記のような環境の中で、前年からの変動を考慮しても相当程度の誘客ができていると評価できる。一方で、時期の早期化などこれまでにない状況の変化への対応は避けられない。
- ✓ 今後も4月の東北・新潟観光において、桜は強力なコンテンツとなることは間違いなく、変化に対応しながらいかに誘客を継続できるかを検討することが重要である。

◇キーワード 開花期間などの環境変化への対応、観光地としてのブランド化の推進

今後の取組は？

▶考察から考えられる取組例

(1)開花期間の早期化に合わせ、各地の桜イベントの開催を前倒し

⇒開花期間を逃すことなくイベントを開催することで誘客機会の逸失を防ぐ。開花に合わせた直前の変更ではなく、早い段階から開催時期の広報により、シーズン開始前から旅行客に訪問を意識させる。

(2)開花状況を公式にリアルタイム発信

⇒現在の開花状況をリアルタイムで発信することで、見ごろの時期を逃さない動機付けを働きかけ。特に県外やインバウンドなど遠方からの来訪者の期待値を裏切らない対応につながり、満足度向上につなげることができる。